

第三種郵便物承認 HSK（遊ぼうよNo.93） 通巻4977号 2019年5月13日発行

祈っていました。しかし、七尾駅前にあるのに誰も入らない現実を見たら、閉店は仕方ないように思うようになりました。これから買い物はアマゾンなどインターネット、地元のスーパー「どんたく」を利用していくしかない、と思うようになりました。

ここからは前回の続きに入ります。2015年度は七尾駅から七尾港（能登食祭市場）方向へ向かう御祓川大通りの様子、一本杉通り商店街、能登食祭市場の様子を取材しています。七尾駅前のパトリアと「ミナ.クル」の間を七尾港（能登食祭市場）方向へ向かう御祓川大通り。この通りは七尾市開発事業によって、道路・歩道が広くなりました。しかし、この事業により周辺の住宅、商店街は立ち退きが迫られていました。少し移動された方、他の地域へ引っ越しされた方など様々でした。多くの方々の犠牲によって広い道路、歩道が出来ているのですね。感謝を忘れていけませんね。



御祓川大通りは道路・歩道が広くなり、電動車いすでスイスイと七尾港・能登食祭市場へ向かうことが出来ますが、一方、脇道に入ると段差が多くあります。このような歩道では操作を誤ると転倒して、大怪我の原因になります。裏通りまでバリアフリー工事は難しいようです。御祓川大通りのパトリアと「ミナ.クル」

の間は、毎年5月3～5日に行われる七尾市の最大のお祭り「青柏祭」に出る山車、デカ山が通ります。2日目の午後に3台のデカ山が勢揃いします。この祭り期間に七尾市内の障害者支援施設の出店販売が、パトリアと「ミナ.クル」前で行われています。一本杉通りの前に、午前中は御祓川大通りを取材しましたら、大きなお城を見つけたのです。てっきりお城だと思っていたら、ドアを開けると立派な公衆トイレでした。片方は多目的トイレになっていました。これを見てこんなところにもバリアフリー設備が整っているのかと驚きでした。御祓川大通りを進み、仙対橋の脇道に入り、七尾市一本杉通り商店街を取材しました。この取材活動のきっかけはNHKニュースで、一本杉通り商店街が北陸新幹線開業に向けて様々な活動を行っているという報道されていました。この報道を見て、商店街の責任者にメールを送り、取材に協力をお願いしましたら、快く引き受けてくれました。一本杉通り商店街では、和菓子店、醤油店、ろうそく店の個人店舗と花嫁のれん館を取材しました。4店舗は昔ながらの個